

たべざかり

令和6年1月30日
大田区立出雲小学校
校長 関 真理子
栄養士 稲葉 未央

令和6年能登半島地震に際し、亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。日々地震が継続しており、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。地震については、まだまだ予断の許さない状況が続いていますが、被災された方が、一日も早く、穏やかな日常を取り戻されることを願うばかりです。

2月は、暦の上ではもう春ですが、まだまだ寒い日が続きます。1月23日の給食では、『卵入り千草和え』を食べた5年生が、「小松菜の緑と、卵の黄色で、春っぽい色だと思った。」と感想を伝えていました。食事から季節を感じられる本校の子どもたちは、心豊かに季節を感じられる心が素晴らしいですね。皆さんも身近な春を見付けて、新しい季節への期待を高めていきましょう。



2月6日は「海苔の日」



大田区は「海苔のふるさと」であることを御存知でしょうか。

江戸時代の中頃から作り始められた大田区の花の「海苔」は、味・量ともに全国一を誇り、ここから全国へ海苔生産方式が伝えられたそうです。第二次世界大戦後、大田区をはじめとする東京都沿岸での「海苔」の養殖はその歴史に幕を閉じましたが、今でもその様子が語り継がれています。

2月1日（木）には、大田区で有名な「海苔」を給食に出す予定です。自分たちが住んでいる街で作られていた食材に興味や関心をもってもらえたら嬉しいです。

6学年は、海苔の歴史を学習発表会で発表する予定です。6学年から伝えてもらう「海苔」の発表を見たり、聞いたりして、「海苔」への理解を深めていきましょう。

2月3日 ～節分～

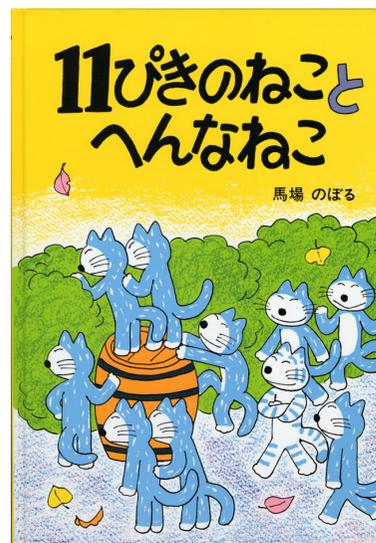


節分とは、もともと立春、立夏、立秋、立冬の前日をさし、季節のかわり目のことをいいます。それが次第に、立春の前日（例年、2月3日前後）だけをいうようになりました。節分には、豆まきをします。豆には霊力があると信じられており、豆をまくことで鬼に見立てた病気や災いを追い払い、福を呼び込みます。また、柗の枝に焼いたいわしの頭をさした「やいかかし」を飾り、鬼を追いはらうという文化が残る地域もあるようです。

2月1日（木）の給食では、「いわしの団子汁」「セルフ手巻き寿司」を出します。給食を食べて、みなさんで福を呼び込みましょう。



図書コラボメニュー:11ぴきのねことへんなねこ



2月の図書コラボメニューは、「11匹のねことへんなねこ」という本から、「揚げ魚のレモンがけ」です。

11匹のねこシリーズは、個性的な動物が登場しますが、今回登場する「へんなねこ」は、宇宙からきたねこです。「へんなねこ」は、表紙に登場していないので、ぜひ本を手にとってみてください。

11匹のねことへんなねこと一緒に魚釣りをするシーンから給食の「揚げ魚のレモンがけ」を考えました。2月19日（月）は、図書室にある関連する本を読みながら、どんな味になるかを期待しててください。

11匹のねことへんなねこ
馬場 のぼる作 こぐま社